

テーマ

CSRの不十分な企業は生き残れない

適用分野

経営戦略、コンプライアンス、環境、人権、社会貢献

研究名称

企業の社会的責任（CSR）と人権
CSR = Corporate Social Responsibility

氏名所属

高 龍秀 教授
全学共通教育センター

内容

●特徴

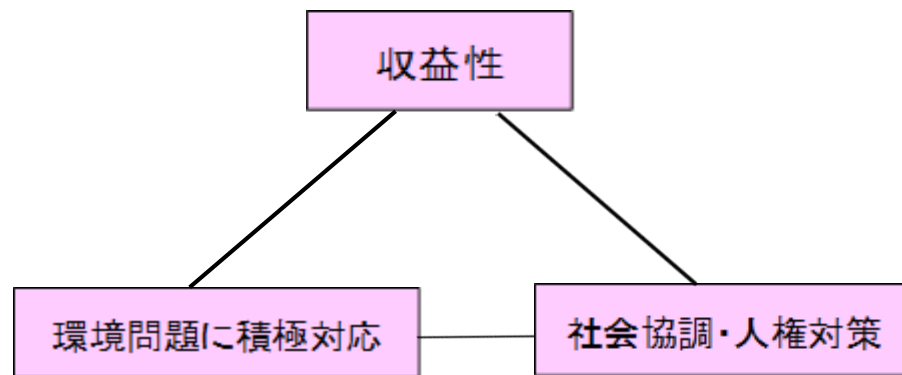
ここ数年注目されている企業のCSR（環境対策、法令遵守、労働・人権・消費者・地域社会への貢献）の内容、重要性を論じる。さらに、CSRに取り組む企業を評価して投資するSRI（Socially Responsible Investment 社会的責任投資）の内容を分析する。

●研究内容

CSRにおいては、企業は①利益をあげるだけでなく、②環境問題に真剣に取り組む、③社会と協調して発展に貢献すべきであるという「トリプル・ボトム・ライン」が重要である。

日本企業においても環境報告書をCSR報告書に改めて情報開示するなど取り組みは加速している。企業内でCSRに取り組むだけでなく、取引先や関係先にも同様の要求をし、CSRを満たしたネットワークの輪を拡大する動きも顕著になる。日本におけるCSRのうち、特に人権問題が重要と思われる。日本独自の問題としての被差別部落問題に加えて欧米と同様に、女性、障害者、外国人などのマイノリティの課題がある。また1990年以降欧米では機関投資家がCSRに熱心な企

業に投資するSRIが活発になってきている。国際標準化機構（ISO）においても従来ある品質（9000）、環境（14000）に加えて早ければ2007年には国際規格になることが決まっている。CSRが新しい企業ランク付けとなり、企業を峻別する時代となった。



CSRにおけるトリプル・ボトム・ライン

キーワード

CSR、SRI、ISO、人権

連携方法

■ 講演 ■ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究